



京都の伝統・文化と自然

フタバアオイ

- ① 葵祭
- ② フタバアオイ
- ③ 葵プロジェクト

一般財団法人 葵プロジェクト 高瀬川薫子

世界文化遺産 賀茂別雷神社 (上賀茂神社)



かつては境内一面に葵が広がっていました。

忘れめやあふひを草に引き結び仮寝の野辺の露のあけぼの

新古今和歌集 式子内親王

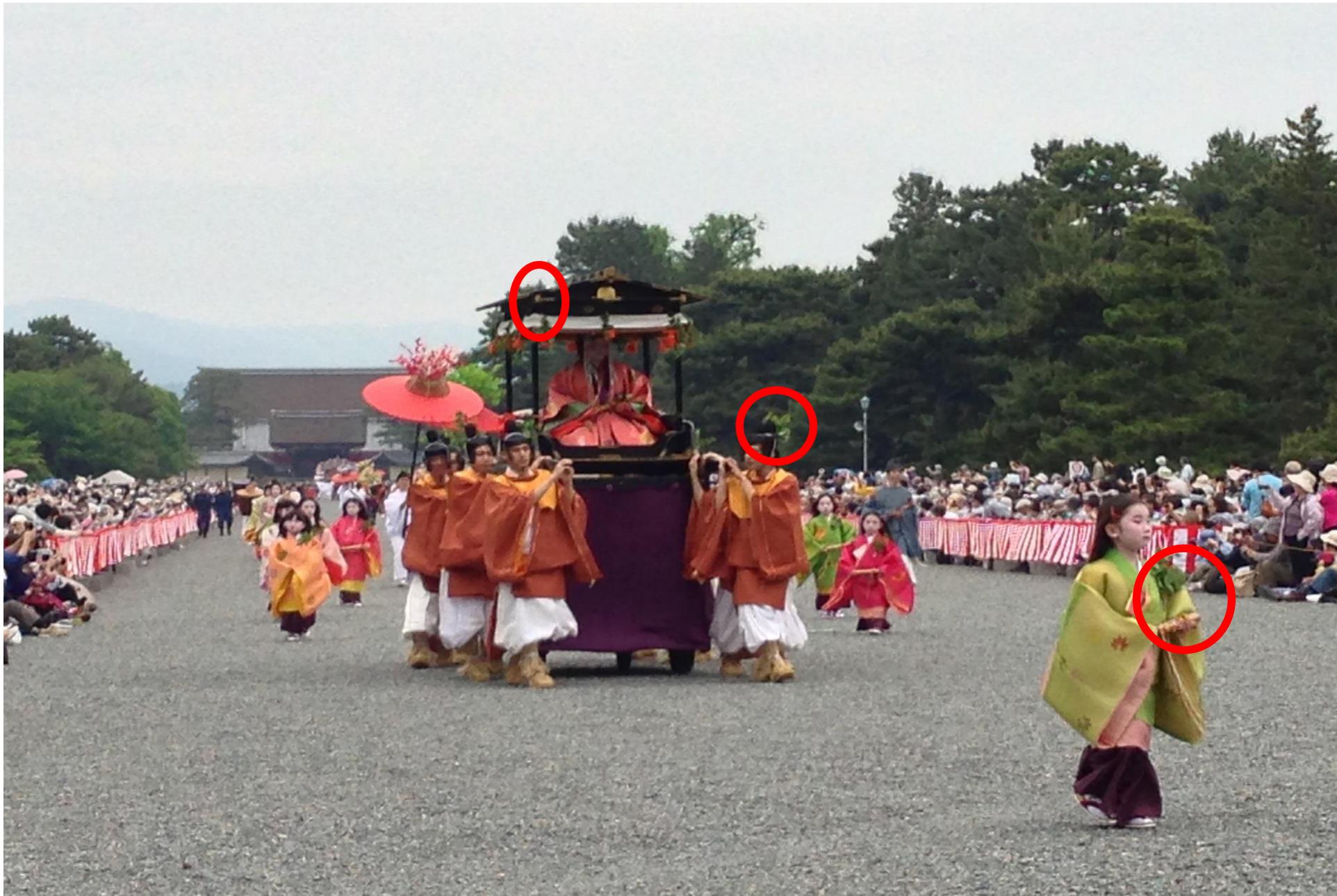


葵の森町

聖地・上賀茂神社
葵と祭りに秘められた

葵の育成地

賀茂祭 (葵祭)



葵祭 毎年5月15日

葵祭巡行図



御所～下鴨神社～上賀茂神社

賀茂祭（葵祭）の起源

祭りの起源は567年欽明天皇の御世にさかのぼる。
約1400年続く伝統祭事である。

祭りに関わる全ての人、社殿の御簾牛車にいたるまで 葵を飾ることから葵祭といわれています。

齋王代



社殿



御簾・牛車・奉仕者全てに飾る

使用する葵は

14,000本



山城の風土記 逸文 賀茂神話



賀茂氏の姫 玉依姫が瀬見の小川で丹塗りの矢と出会う。



矢を枕元におき 就寝されると
神妙なる力で皇子を授かる。

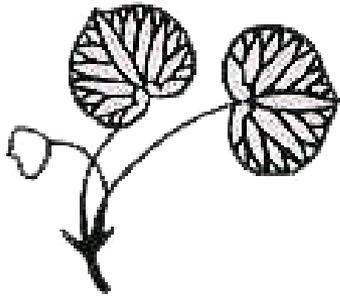


皇子の成人を祝う席で父親捜し
をするがここにいず。と天に昇
ってしまわれる。



私に会いたければ 葵桂の蔓を飾っ
て

お祭りをせよ。そうすれば私に会え
る



葵

あ ふ ひ

「あふ」とは「会う」

「ひ」とは「神」

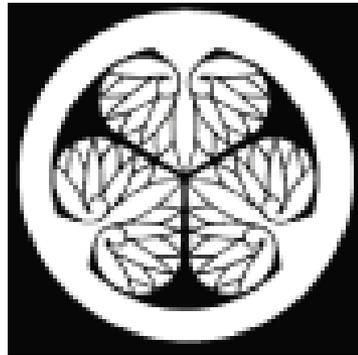
素敵な出合いを結ぶのが「葵」です

神紋・家紋・祭

上賀茂神社の
御神紋



徳川家の家紋



葵祭



フタバアオイ



早春 身近な山あいにはいち早く芽吹き
ハート型の葉を二枚つけ、
その間にはつつましく清らかな花を一つ咲かせます。
ウマノスズクサ科 多年草 落葉樹林の林床に広がる

自然の様子 落葉樹林の林床に広が

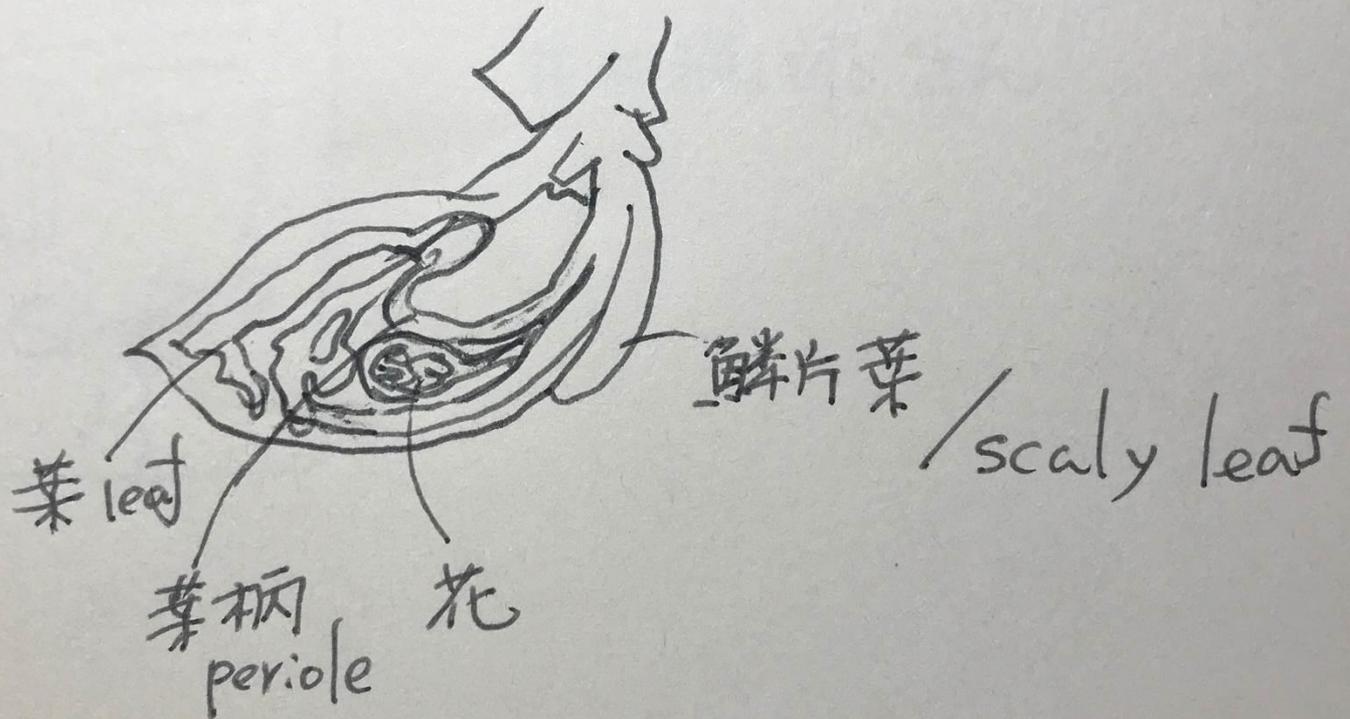


癸の一年

2月頃のフタバアオイ 土の中の
様子



越冬芽の断面図



2月中旬頃



冬芽が開く。
よく見ると
冬芽の中に
二枚の葉と
1mほどのピン
ク色の花も見
ることができ
る。

太陽の日差し
をたっぷり当
てる
水は土が乾か
ない程度

3月～4月



小さな紅紫色の花をつけます

日の当たる場所で水をたっぷりあげてください。

実生



実生は
「ハート型」
ではなく
「スぺード
型」です。

2～3年目
にハート型
になります
。

初夏



5月
葵祭の頃には
もっとも
美しく輝き
ます。

水をたっぷり
あげてく
ださい。

夏



葉が茶色くなって
くるときは日に当
たりすぎです。

日蔭に移すか、
すだれのようなも
ので日差しをさえ
ぎってください。

水はたっぷりあげ
てください。

秋



秋になると
地上の茎は傾き、
葉は周りから茶色く
なります。
やがて葉は無くなり
ます。

枯れたのではなく
来年に備え
地下茎と根を残して
生きています。

時々水をあげてくだ
さい。

冬



冬は葉はありませんが、
地上を這うように
地下茎がひろがります。
。

太陽にたっぷりあて

水は土がかわいたら
やってください。

肥料は特にいりません
。

3月



早春に芽吹きます。

山間では落葉樹林がまだ
葉を落としています。

林床にひろがり、
木々に潤いを与えています。

葵の一年の増え方



昨年



今年

根の様子



昨年



今年

自然災害や環境の変化で お祭りに使う葵が激減



葵プロジェクトの活動

激減した葵を育て 葵祭を守っていく



葵の株分け

小学校をはじめ
教育機関や企業、
個人が里親となり
葵を育成（全国）

育った葵の一部を
葵の森へ返す

伝統祭事葵祭
に活用
間接的に支援

葵の教室では学校など
に出前授業を行って
います

株分け



葵の教室



育てた葵を上賀茂の森へ植栽



葵里帰り式 (毎年5月初めに)



上賀茂神社境内の葵の森に ご協力団体様の名札





葵プロジェクトでは
一人でも多くの参加
を募っています。

自分が育てたフタバ
アオイが葵祭で使わ
れるのを見て祭りを
身近に感じてはいか
がでしょうか。

葵プロジェクト